

## 令和4年度 教育課程特例校実施状況(自己評価・学校関係者評価)

聖隷クリストファー中学校グローバルスクールコースは、日々変化を遂げる国際社会の中で活躍するために必要な高い英語力と能力、知識を備えた人材を育成するため、社会、数学、理科、美術、音楽、保健体育等の各教科を多国籍の教員が英語で授業を行う英語イマージョン教育の教育課程特例校としての認定を受けています。教育課程特例校は、特別の教育課程の実施状況に対する自己評価と学校関係者による評価を毎年公表することになっています。

### ■教育課程特例校(英語イマージョン教育)に関わる取り組みについての実施状況

※評価の指標・・・A(十分に成果があった)、B(成果があった)、C(少し成果があった)、D(成果がなかった、取り組みできなかった)

取組目標	成果目標	自己評価		学校関係者評価	
		評価	達成状況	評価	意見
コースの独自性・特徴を生かした教育活動を実施する。	グローバル教育を重視し、国際バカロレアに見られるような国際的な基準を踏まえた教科シラバス、アセスメント方法、学習スキル項目を完成する。	C	学習スキルを一覧化し、各教科でどのスキルにフォーカスを当てて指導していくかについて研究を重ねた。グローバルスクールコース独自の評価ポリシーが完成し、実施しながら改善に取り組んでいる。	C	国際バカロレアに見られるような国際的な基準を踏まえた教科シラバスとはどのようなものかを知りたい。
	英語力が向上していると感じる生徒 100%	B	91.7%の生徒が英語力の向上を実感しているが、実際の英語力としては、アウトプットの力がまだ十分身に付いていない。	B	評価は妥当と思える。
	主体的に学習に取り組めたと感じる生徒 80%	A	91.7%の生徒が主体的に学習に取り組めたと答えた。主体的な取り組みは、グローバルスクールコースの生徒の特長として現れている。	A	評価は妥当と思える。